

管内地域銀行の平成 29 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益、役務取引等利益の減少等により、前年同期に比べ 14.65% の減益。
- 当期純利益は、株式等関係損益が増加したものの、与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ 14.79% の減益。

(単位：億円)

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	14,458	14,365	13,606	▲759	▲5.28%
資金利益	11,980	11,814	11,378	▲436	▲3.69%
役務取引等利益	1,908	1,914	1,774	▲140	▲7.32%
債券等関係損益	▲29	58	▲19	▲77	▲132.97%
うち、債券等償却(※)	▲4	▲3	▲6	▲3	▲103.97%
経費(※)	▲9,009	▲8,888	▲8,931	▲43	▲0.48%
実質業務純益	5,449	5,477	4,674	▲802	▲14.65%
与信関係費用(※)	▲194	▲134	▲280	▲145	▲108.32%
株式等関係損益	304	451	464	+13	+2.95%
うち、株式等償却(※)	▲9	▲23	▲6	+17	+73.40%
当期純利益	3,715	4,015	3,421	▲593	▲14.79%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金(末残)	96.7 兆円	99.1 兆円	101.7 兆円	+2.6 兆円	+2.63%
貸出金(末残)	71.1 兆円	73.4 兆円	75.7 兆円	+2.2 兆円	+3.11%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比
不良債権額	16,010 億円	14,971 億円	13,881 億円	▲1,089 億円
不良債権比率	2.22%	2.02%	1.81%	▲0.21 ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は、貸出金の増加を主因とするリスクアセットの増加等により、前年同期に比べ低下。

(国際統一基準行：4 行)

(国内基準行：19 行)

	28 年 3 月期	29 年 3 月期
総自己資本比率	13.74%	13.46%
Tier 1 比率	12.96%	12.84%
普通株式等 Tier 1 比率	12.89%	12.84%

	28 年 3 月期	29 年 3 月期
自己資本比率	10.45%	10.00%

(注1) 管内地域銀行の集計対象は23行(地方銀行13行、第二地方銀行9行及び埼玉りそな銀行)。
(注2) 計数は単体ベース。
(注3) 今後、各行の精査等の中で変動し得る。

管内信用金庫の平成 29 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益の減少等により、前年同期に比べ 16.16%の減益。
- 当期純利益は、与信関係費用が減少したものの、株式等関係損益の減少等により、前年同期に比べ 19.11%の減益。

(単位：億円)

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	6,828	6,572	6,298	▲273	▲4.15%
資金利益	6,194	6,058	5,846	▲211	▲3.49%
役務取引等利益	297	299	275	▲24	▲8.03%
債券等関係損益	296	198	184	▲13	▲6.91%
うち、債券等償却(※)	▲7	▲14	▲1	+13	+91.91%
経費(※)	▲5,240	▲5,108	▲5,071	+36	+0.71%
実質業務純益	1,588	1,463	1,227	▲236	▲16.16%
与信関係費用(※)	▲333	▲321	▲240	+81	+25.35%
株式等関係損益	153	139	112	▲26	▲19.23%
うち、株式等償却(※)	▲0	▲3	▲1	+1	+44.19%
当期純利益	1,147	1,071	866	▲204	▲19.11%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金 (末残)	48.2 兆円	48.9 兆円	49.8 兆円	+0.9 兆円	+1.83%
貸出金 (末残)	24.3 兆円	24.9 兆円	25.7 兆円	+0.8 兆円	+3.22%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比
不良債権額	14,039 億円	12,788 億円	11,772 億円	▲1,015 億円
不良債権比率	5.74%	5.10%	4.55%	▲0.55 ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は、貸出金の増加を主因とするリスクアセットの増加等により、前年同期に比べ低下。

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比
自己資本比率	11.07%	10.92%	10.57%	▲0.35 ポイント

- (注1) 管内信用金庫の集計対象は72金庫。
(注2) 計数は単体ベース。
(注3) 今後、各金庫の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第2課

TEL 048-600-1148

管内信用組合の平成 29 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、資金利益や債券等関係損益の減少等により、前年同期に比べ 23.01%の減益。
- 当期純利益は、与信関係費用の増加等により、前年同期に比べ 19.33%の減益。

(単位：億円)

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
業務粗利益	1,317	1,240	1,168	▲71	▲5.77%
資金利益	1,193	1,152	1,102	▲49	▲4.32%
役務取引等利益	▲15	▲17	▲20	▲3	▲20.02%
債券等関係損益	127	93	73	▲20	▲21.67%
うち、債券等償却(※)	▲0	▲0	▲0	+0	+58.48%
経費(※)	▲966	▲940	▲938	+2	+0.27%
実質業務純益	350	299	230	▲68	▲23.01%
与信関係費用(※)	▲96	▲41	▲47	▲5	▲12.77%
株式等関係損益	18	16	14	▲1	▲8.65%
うち、株式等償却(※)	▲0	▲0	0	+0	+97.63%
当期純利益	211	196	158	▲37	▲19.33%

※ 債券等償却、経費、与信関係費用及び株式等償却については、正の値は益を、負の値は損を表す。

(参考)

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比	
				増減額	増減率
預金 (末残)	8.3 兆円	8.4 兆円	8.7 兆円	+0.2 兆円	+3.09%
貸出金 (末残)	4.0 兆円	4.1 兆円	4.3 兆円	+0.1 兆円	+4.48%

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前年同期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比
不良債権額	3,421 億円	3,063 億円	2,794 億円	▲269 億円
不良債権比率	8.39%	7.40%	6.47%	▲0.93 ポイント

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は、貸出金の増加を主因とするリスクアセットの増加等により、前年同期に比べ低下。

	27 年 3 月期	28 年 3 月期	29 年 3 月期	前年同期比
自己資本比率	13.26%	12.98%	12.42%	▲0.56 ポイント

(注1) 管内信用組合の集計対象は53組合。

(注2) 計数は単体ベース。

(注3) 今後、各組合の精査等の中で変動し得る。

【お問い合わせ先】

関東財務局理財部 金融監督第3課

TEL 048-600-1254